

埼玉労山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙

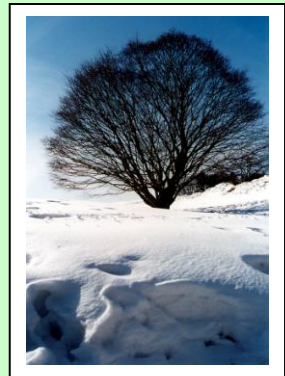
発行：武笠真次

〒336-0011さいたま市浦和区高砂 4-1-5 ふじビル2階 編集：澤藤俊昭

<http://www.justmystage.com/home/tozans/index.html><http://www.justmystage.com/home/tozan/>

2月号 目 次

- 1 P) 第2回評議会報告
- 2 P) 〃、遭難防止安全担当者会議報告
- 3 P) HC委員会「地図読み講習会」報告
- 4 P) 岩ネット、雪山ネット報告
- 5 P) 登山学校「第5回講座」報告
- 6 P) 〃 「第6～7回講座」報告
- 7 P) 寄稿 「思い立った時がチャンス」
- 8 P) 理事会報告、活動予定、他



埼玉労山 第2回評議会報告

[日時] 2012年1月22日(日) 午後1時30分～4時30分

[場所] 高鼻コミュニティセンター

今期の主な県連活動報告と各委員会の活動報告、ブロック活動の報告

そして来期活動に向けての組織拡大と強化に向けた事故防止と安全登山等の

45期の大まかな活動方針の骨子が提案され、総会議案として承認されました。

また、全国連盟総会で決定される「個人会員制度・第2次提案」について検討！



去る一月二十二日、大宮の高鼻コミュニティセンターに於いて、埼玉県勤労者山岳連盟第2回評議会が開催されました。

開会挨拶後、議長に伊藤氏(わらび山の会)、滝沢氏(熊谷トレッキング)、書記に青木氏(桝歩富士見)、柴山氏(パルブランチ)を選出。資格審査では加盟団体二十八団体で評議員定数(三十名)に対し、参加団体数(十六)、評議員(十八名)で評議会が成立している旨の報告がありました。

武笠理事長の挨拶では、昨年に引き続き『明るく・楽しく・安全に』を基本に、加盟団体の遭難防止と安全登山、また組織の拡大と強化や東日本大震災の被災者支援活動を県連としても積極的に行って来た事、そして今後も引き続き継続して行く旨の挨拶がありました。

続いて、全国連盟の斉藤理事長から来賓挨拶が述べられ、この一年は東日本大震災と福島原発事故等の自主的な支援活動に明け暮れた一年でもあり、全国の仲間による義援金は約2千万円、そして支援活動に至っては石巻だけでも約2千人、全体では数千人に及び、社会的にも



大きな役割を果たして来た事を報告され、全国連盟を代表してお礼の言葉が述べられました。

また、放射能汚染の問題ではいち早く測定機を購入し、登山道の調査を始めている事。また組織拡大と個人会員性導入については、労山問わず山岳界全体が高齢化し、今後の組織活動が危惧され、個人会員制度導入の是非ではなく、早急に若い会員を増やす努力や活性化を図る事が重要であると述べられました。

@県連活動報告として

今期の活動方針である組織拡大・個人会員制度については、県連としては導入を見送りを決定。幸い、山ガールブームを反映してか登山学校等で若い会員も増えている加盟団体があり今後も各加盟団体でのHP活用と会の活性化への努力をお願いしたい。

事故防止活動では、恒例となった安全登山講演会が六十名の参加で盛況の内に終わられ、また登山学校は八回の全講座が無事終え閉校式を迎える事、遭難防止・安全教育担当者会議や救



助隊活動を通し、安全意識の高揚と啓発がすすめられ、今後も引き続き継続して行きたいと報告されました。

その他、県連として震災支援活動も多く会の会や個人の協力により積極的に取り組まれました。女性委員会を中心とした物品販売やTシャツ販売、そして石巻支援活動等、本当に参加して下さった方々には御苦労さまとお礼を述べさせて貰い、引き続き継続した支援活動に取り組んで行きたいと報告がありました。

@専門委員会報告

第二号議案の専門委員会活動報告が各担当者より報告がなされ、これまでの一年間の活動内容の報告があり、また来期の活動に向けた方針と取り組み等の提案がありました。

【遭難防止・安全教育担当】安全教育担当者会議(9月、1月)全国会議への参加、安全登山講演会11/27(日)安全登山講演会 於：岩槻コミュニティセンター 60名参加

【自然保護委員会】4/24足尾植樹、5/30 6/5 クリーンハイク、雨で中止になった西部は 11/23



嵐山溪谷交流ハイイクで実施。10/15～16 関東自然保護交流集会(埼玉主管)於：長瀬荘 一都六県 80名参加。登山道放射能測定開始。他 支援活動参加。

【女性】委員会開催(1回)全国女性担当者会議(2回)女性登山者の体力測定参加、震災支援活動：関浦女性支援(9/23～25)17名、Tシャツ・昆布販売の取り組み、3/31山でのアクシデント対応講習会実施。【ハイキング】委員会開催(パルコ)7回、5/8 山急山交流ハイイク実施。9/17～18 全国ハイキング交流集会へ参加(伊豆長岡4名) 1/8 地図読み講習会 53名参加。

【機関紙】168～175号発行。委員会体制・編集会議開催無し。寄稿原稿少なく、編集発行の遅れ等で迷惑をおかけしました。来期も読まれる機関紙と内容豊かな機関紙づくりをめざし、編集ソフト利用、印刷軽減の為に県連HP活用を検討。

【海外】海外委員会の確立と情報収集や提供が出来ずに終わり、加盟団体の海外登山報告がありましたら情報をお願いします。

【岩ネット】

ト講師に水谷・小島氏の協力を得て、初級者の技術講習と岩登りアドバイス。



今年実施された山行は8/28
10/30 12/23 でした。
【雪山】・3/3〜4 初級「雪山に
泊まろう」黒姫山 477〜8
中級・雪稜「テント泊」コマの
頭北尾根
【山スキー】3/4 安達太良山
【組織委員会】加盟団体組織実
態アンケート調査、集約未定
【救助隊】①組織レスキュー技
術向上を計り、併せて隊員個々
の技術向上を充実と緊急出動体
制を確実なものにしました。
②新しい救助技術・装備・器具
の円滑なる装着・活用技術の習
得と定期的学習と訓練、救助活
動の任務別救助体制をより確実
にする為の訓練を実施。
隊員 27名活動中。



【登山学校】登山学校年間受講
者二十一名、他スポット七名、
運営委員十二名全講座終了。
〆〆閉校式。

【HP】HPのリニューアルを
実施。組織拡大に寄与している
県連や各委員会のコミュニケーション
と情報掲載不足があるが、
閲覧数は増えている。加盟団体
の情報更新を呼びかけた。情報
提供を。

【ブロック協議会】

西部：12/6 ブロック会議
・雪山交流 2/26 武尊山
南部：1/19 ブロック会議
・裏磐梯スノーシュー2/11〜12
中部：2/29 ブロック会議
・雪山交流 3/11〜12
阿能川岳南東尾根

各ブロックでのクリーンハイク
やその他、交流バスハイキング
や地図読みや岩登り、雪技、ス
ノーシュー等の取り組みが報告
されました。

@第四十五期活動方針案

評議会に於いて、第四十五期総
会の議案の提案と検討を行なう
為、大まかな活動方針の骨子が
提案されました。昨年と同様に、

①組織拡大 ②個人会員加入制
度 ③新特別基金 ④事故防止
⑤各ネット活動の充実 ⑥埼玉

労山震災支援活動⑦その他

この中でも、会員拡大と青年
対策、個人会員加入制度では、
会員数減少の抑制を図る為にも
会員の知恵を出し合い、登山の
魅力を語り合える山仲間を作る。

若い人を受け入れる会・クラブ
の体制作りを積極的に推進する。
としています。
(各 専門委員会・ブロックに
ついては次号で紹介します)

@その他

議題に関する質疑と要望事項

【県連活動へ】

①登山学校・講習会・教育での
事故が増えている状況に県連と
しても対策を：障害保険等の検
討をする。

【全国連盟へ】

①登山学校や講習等安全に活動
出来る事を提示。他の講習との
比較も…。

②全国連盟「個人会員制度」

2次提案に対して

・労山の基礎は加盟団体をベ
ースに考えて！
・仲間意識が希薄になる危惧。
情報交換の機会を多くして。

・個人会員制度で年齢制限は？
総会代議員定数の確認
規約通り 総会代議員定数の
確認を行いました。

その他 お知らせ
・第四十五期県連総会 3/25
大宮高鼻コミニティセンター
・女性委員会 救急講習会



・全国連盟から 補足

個人会員は育成に時間がかか
り基本的には組織を重視。総会
で制度が決定されれば、八月頃
からネット利用で地方で実験的
に実施。強制導入加入はしない
何せ、時間的余裕があまり無く
加盟団体が激減(特に地方で)
山行管理が難しい会は、将来的
には個人会員向けの管理システ
ム利用も出来役立つと思う。

― 斉藤理事長 ―

加入にあたり、個人データ等
は自動的管理と過去10年位の
山行経歴等を把握し、さらには
山行中の情報や下山報告の受理
システム等も検討している。

― 井芹全国連盟対部長 ―

最後に、議長・書記を解任し
て第二回評議会を終えました。
以上、報告ならび提案された方
針案の内容は、拍手でもって承
認されました。

終了後は、恒例により希望者で
大宮駅近くの居酒屋で懇親会を
開催。夜遅くまで山談議で盛り
上がったことはいうまでもあり
ません！

以上。



第十二回遭難防止 安全教育担当者会議報告

期日：1月22日(日)

9:30〜12:00

場所：高鼻コミセン
出席：15団体25名

県連理事7名 含

(三郷山の会、登攀クラブ岩つ
ばめ、わらび山の会、桝歩歩
富士見山の会、上福岡山なみ
所沢HC、ハイジアルペンクラ
ブ、パルブランチ、ビスター
リ、峠山の会、新座山の会、
椋山岳会、日和田アルパイン
クラブ、熊谷トレッキング同
人、大宮労山)

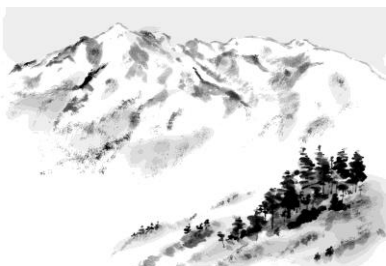
今回は多発する山岳遭難事故、
平成22年(2010年)の日本国
内の遭難件数1942件、遭難者数
236人と警察庁より発表され
ています。未組織登山が多いと
思われていましたが、残念なが
ら組織された登山団体、労山内
部でも毎年200人を超える遭難
事故者をだしている状況です。
(埼玉県内の平成23年の遭難
件数39件、遭難者数52人)

日本勤労者山岳連盟 遭難対策
部よりの「事故防止マニュアル」
を参考に各会の担当者からの意
見を出し合い議論してもらいま
した。

①山行目的の確認 ②目標ル
ートの確認 ③パーティの確認
④情報収集の確認 ⑤装備
⑥食糧 ⑦アクシデント対策
これらの内容、チェック、ポイ

ントの中ではほとんどの会が把
握しており、遭難防止について
気をつけているようであった。
尚、全国連盟より作成した「安
全登山マニュアル」「心疾患」・
「脳疾患」の冊子を各会で活用
してくだされれば幸いです。

(担当理事 尾手)



埼玉県勤労者山岳連盟 ハイキング委員会 主催

地図読み講習会

期 日 2012年1月8日

場 所 北浦和カルタスホール
参加者 60名

講師 村越 真 氏

静岡大学教育学部教授

静岡大学教育学部教授

日本国際地図学会 評議委員 他

いよいよ、村越 真氏による、地図読み講習会。山岳遭難と道迷いの実態や年代別態様別遭難者・男女別のグラフ表により、判ったことは、80代の男女共、道迷いは、同じような、グラフの形になっているが、男性は、心臓疾患等の病気が女性に比べ

多い事が分かった。「記号テスト」・グループ別にスライドに映した場所を記号で答える所では、電波塔や針葉樹林のような、明確に判るものは良いが、山道のような所は微妙。地形図に尾根線をできるだけ正確に沢山入れていく作業は、とても楽しいものでした。

難しいと思った事は、尾根が幾つも重なり合う実際の写真を見て地図に落としていく作業でした。紙コップ1個と紐を使つての「正し道はどれ？」は、私たちの会に持ち帰り、新入会員講座等でやってみようと思う。

コンパスが誤作動しないように、少し離れて……。オリエンテリングの疑問も解決しました。色々学べて、参加して本当に良かったと思います。ハイキング委員の計画に感謝！

塾歩富士見山の会

金子節子 記



地図読み講習会に参加して



「あなたの地図読み 大丈夫ですか」と題して ハイキング委員会が主催した今回の講習会は、登山時報掲載の「地図読み迷人」で馴染みの 村越 真 氏を招き、参加された多くの会員が地図読み名人に挑戦！悪戦苦闘しながらも、有意義で楽しい机上講習会となりました。

多分事が分かった。「記号テスト」・グループ別にスライドに映した場所を記号で答える所では、電波塔や針葉樹林のような、明確に判るものは良いが、山道のような所は微妙。地形図に尾根線をできるだけ正確に沢山入れていく作業は、とても楽しいものでした。



年明け早々の一月8日、北浦和カルタスホールに於いて、ハイキング委員会主催により、「貴方の地図読み大丈夫ですか！」というタイトルで地図読み机上講習会が開催しました。

講師には、登山時報「地図読み迷人」掲載中の村越真氏にお願いし、83名(25加盟団体他)の参加で盛況にて終える事ができました。

協力者(県連登山学校)による事前講習後、10時から地図読みの重要性、過去の道迷いの例などの話のあとプロジェクターでの講義を中心として進められました。

参加者は83名の班編成とし、

1人は地図読みに詳しい人を交え、講師から向けられた質問に対して各班で考え、答えを見つけていくという方法で学習しました。

内容としては
・類似する「道」等の記号と実際の写真について。

・尾根と谷との区別。
・写真の地点が地図上のどの地点にあたるか。

(これは写真では読み切れない尾根の重なりなど複雑で、なぜか？との意見が飛び交った)
・地図のルート上にどんな「道迷い」が隠されているかの・先読み等。

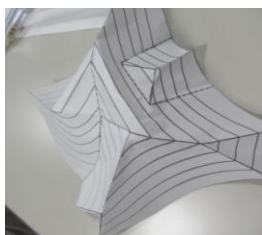
・コンパスについて整置など初步的な説明、などがありました。

時間は10時～16時の5時間を予定していましたが、内容も解りやすく参加型講習会の為、和気藹々として楽しく、時間は短く感じられました。

事後のアンケートに於いてもほとんどが「良かった」の意見を頂くことができて、開催して良かったと思います。来年度もこうした講習会等が出来たらと思っています。また、協力いただいた登山学校の講師の皆さんありがとうございました。

尚、皆さんから協力いただいたアンケートの結果は後日参加された皆さんに報告したいと思います。

ハイキング委員長 佐藤久子





岩登りネット活動報告

月日…12月23日(日)
場所…湯河原・幕岩
参加…合計 13名

今回初めて岩ネットに参加しました。湯河原駅8時33分集合。タクシー相乗りで幕岩まで。幕岩に登るのが初挑戦なんです。でも、そもそも岩に登るのが3回目というチャレンジヤーであります。

幕岩の知識で思うのが梅の名所ていどのありさまで、参加者の皆様には申し訳ない。まずファーストコンタクトで何所から攻めりやいいのか？岩にしがみついたら何も変わらないう状態。ただヤタラに指先が痛く拷問のようだった。

セカンドコンタクトも中腹まで上がったがザンネン、これはなんかマズイ感じになってきた。これではチョット情けない。

それを察していただいたのか、登山学校の講師でもある水谷さんに難易度を下げたコースにしていた。思ったと思う、サードコンタクト。

とにかく必死にアタックしていたら温かい声援が参加者の皆

様からいただき力が入りました。なかでもひとときわデカイ声で「カエル！」との声援？聞き違い？またデカイ声で「姿勢がワルインダヨ！」

あーなるほど姿勢が悪いのか、カエルとはうまい事いうなあー。そういえばムーブが大事なんだと聞いてはいたけど反応できないチャレンジヤー、でもどうにか時間がかかったけどクリアー出来たのでホットしました。

この後2コースをクリアーしたところで雨も降ってきてノーサイド、まあまあだったかな？長い時間ビレイヤーに徹していただいた講師のみなさんに感謝、感謝です。ありがとうございます。

自分に納得し気持ちを切り替えて、この後アフターマッチフアンクションにチャレンジ。参加者のみなさんが気持ちのいい人ばかりで一日がとても楽しかったです。気分が乗ってきたので、ツーステージにチャレンジした事は言うまでもありません。

わらび山の会 榎本四郎 記

*参加希望者は
岩ネット担当 松本 迄
携帯 090-1810-5404



2012年度 雪山ネットワーク

●山行案内と実施要項

①初級雪山

『雪山に泊まろう！』

・期日 3/3(土)～3/4(日)
・場所 黒姫山

*2/27(月) 19:30～
準備学習会 浦和パルコ9F

②中級雪山

『雪稜を登る！』

・期日 4/7(土)～4/8(日)
・場所 谷川岳
・場 所 コマノカミの頭・北尾根

*3/26(月) 19:30～
準備学習会 浦和パルコ9F

目標

- ① チャレンジ、自主・自立の登山をする
- ② スポーツ登山としてチームワークを学ぶ
- ③ 深く自然と係わる登山をする
- ④ 次期冬山シーズンに同程度の自主企画登山を目標とする

参加対象者

- ① 埼玉労山の会で遭難対策基金に10口加入している
- ② 15kg程度の荷重で6時間以上の歩行ができる
- ③ 日帰り登山を経験している
- ④ 岩登り講習会を経験している
- ⑤ 長く雪山登山を行う意思がある

る

安全対策

- ① 雪山登山のリスクについて十分な説明をする
- ② 山行中の遭難事故については遭難対策基金で対応する
- ③ スタッフは労山個人賠償責任保険に加入する
- ④ 使用交通手段は車とし、自家用自動車保険加入とする

問い合わせ先

徳重理事(大宮労山)
TEL 048-664-6154
携帯 090-8841-6482
wk3wu4@bma.biglobe.ne.jp

山でのアクシデント対応講習会

主催 埼玉労山女性委員会

山でアクシデントが起きた時、どうしたらいいのでしょうか？普段山に持っていくものを使い、適切な応急手当てをする方法を学びましょう。
このことは、繰り返し学ぶことが大切です。

記

日時 3月3日(土) 9:30～16:30

場所 北本市・北本自然観察公園

JR高崎線北本駅西口より バスで15分、
北本自然公園下車1分

講師 柴山 利幸氏(パル・プランチ)

MFAインストラクター、救助隊副隊長

*講習内容

心肺蘇生法(一昨年 ガイドラインが変更)
応急手当など、屋外でシュミレーション
(雨天時は屋内)

持ち物 通常の山行で持参する物

*ザック、上着、救急セット、お弁当、水筒、山の格好でストックは、いりません。

参加費 500円

申込み先: 久保 典子(県連理事女性委員)

TEL 048-477-1222

Eメール kubo10@orion.ocn.ne.jp

埼玉県連盟第45期定期総会のお知らせ

定期総会を下記のとおり開催します。代議員の皆様は万障繰り合わせの上ご出席をお願い致します。

また、県連役員以外は代議員や傍聴者として参加自由ですので是非総会に皆さんでおいでください。

記

日時 3月25日(日) 午前9:00受付 9:30～16:00

場所 さいたま市高鼻コミュニティセンター B1F 大集会室

さいたま市大宮区高鼻町2-292-1 ☎048-644-3360

議題 2011年度 活動報告、会計決算・会計監査報告

2012年度 活動方針(案)、予算(案)

2012年度 新役員選出など

*総会終了後、交流を深める為に懇親会を予定しております。

多くの皆さんの参加をお願いします。

【連絡・問合せ先】 県連盟事務局長 木村 哲也

〒361-0023 行田市長野1816-3

TEL: 048-554-3429 080-1146-7760

Eメール: thtu2002@bb.knet.ne.jp

第十六期登山学校

第五回講座

「岩登り初級」を終えて

十月一日

机上学習

午前中は軽部講師から三点支持等の説明や、軽部講師自信の体験談や何故岩登りの基礎的な技術が一般の山登りでも必要なのか等の講義を受ける。



午後にはロープワークの実習。軽部講師の講義はとても楽しくまた分かりやすく、翌日の本番が一層楽しみになった。



十月二日

日和田山グレンデ 実習

集合場所の高麗駅から、班毎に日和田山に向かう。私は第一班だ。登山道を登っていくと、木々の間から本日の実習場所である大きな岩が見えてきた。男岩だ。思ったより大きく高い。二十m位はあるのだろうか。岩肌にはすでにロープが何本も垂らされ盛んに登られていた。

午前中は、懸垂下降の練習やボルダー岩でのトップロープを使った登り方の練習を行った。初めてクライミングシューズを履いたがすぐつま先が痛い。隣で女性の受講生がまるで纏足ねって言っていたが、その通りだと感じた。

昼食後、午後はいよいよ男岩登攀の開始。

南面に三本のロープが降ろされており、私は一番左側を登ることになった。受講生で最初の挑戦者だ。

岩に取り付くまではすぐく緊張していたが、いざ登り始めてみるとすぐに緊張感も吹っ飛びただひたすら登ることに集中。途中で三点支持を保って下を見下ろすと確保して頂いている運営委員の方や順番待ちしている受講生が私を見上げているのが見えた。

その後順調に上まで登って、問題の懸垂下降だ。午前中の練習でもあまりうまくいかなかったのだ。少し緊張しながら、思い切って体重をロープにかけ足は逆ハの字で踵を岩に付ける感



じで下降開始。はじめは少々こちない感覚だったが、徐々に緊張が取れてくると体重のかけ方と足の運びのバランスが取れるようになってきた。これは楽しい！って思っているうちに下降も終了。アツという間の一本目だった。登り終わったあとに岸壁を見上げるとここを登ったんだなあという充実感が湧いてきた。

他の受講生が一本目を終了するのを待って、二本目に挑戦。二本目は一番右側のルートに登ることにする。ここは途中で段差があり上の部分が高くなっていてホールルドも少なそう、難易度が高そうだ。

登攀開始。

その問題の箇所までは順調に到達。実際にその場所まで登って見ると、下から見ているよりも何倍も厳しい場所だった。足を安心して置けるホールルドが見つからず、シューズのグリップ力だけが頼りだったが、少し大きめのクライミングシューズに履き替えたからか油断するとすぐに滑る。必然的に手で体重を

支える割合が多くなる。上の段のホールルドを探す指がかかる場所が見つかからない。不安定な体勢でしばらく探してみたがやっぱり見つからず、そうしているうちに両手の握力がなくなってきた。このままでは落ちることになってしまいうので、残念だったがその場所は左側に逃げてなんとか登りきった。二本目は少し悔しい結果になった。

三本目は少し休んでから一番左のルートの上の稜線側を登った。三本目なので大分落ち着きも出てきて、登攀中にとまりを登っている女性の受講生を励ましなが



四本目は西面。このルートも難しそうだ。下から観察するとルートの中間より少し下の部分が若干オーバーハング気味になっていてホールルドも少なく一番の難所のようなうだ。少し緊張してくる。今回は二本目での教訓を生かし、あまり時間をかけずに手に疲労が来る前に難所を通過しようという決意、壁に取り付く。今回はシューズも小さめに変えた。難所までは順調に登れたが、四本目なので手に疲労感がある。意を決して間を空けずに難所にかかる。足のホールルドは問題

なし。シューズもグリップしている。手もホールルドを探し当てキャッチするが握力が低下しているのが不安だ。オーバーハングの上部に到達すると左手のホールルドが指先しかかからず安定した体勢を取れない。それでも上へ進もうとすると、危うく左手の指が外れかかったが、強引に右足を踏ん張り左腕を伸ばすと少し上のホールルドをキャッチすることができた。

これで安定感を取り戻しなんとか難所をクリア。そこから上はあまり難しいところもなく一番上に無事到達。四本目は自分としては満足できる結果になった。

気がつくとも終了の時間となっていた。こうして私の初めての岩登りは終了した。充実した楽しい一日だった。

いままでは岩登りとは普通の山登りと違って危険で簡単には近づけないものと思っていたが、今回の体験を通じて私でも挑戦出来るんだという気持ちになりました。もちろん、安全に登るための装備・ロープワーク、信頼できるパートナーがい



て初めて可能だということが大

@登山学校から！

今期のすべての登山学校・講座を無事終了。登山学校閉校式を2月5日(土)に終了しました。登山学校の受講生の皆さん本当にの御苦労様でした。「雪山入門」講座の記録は次号で報告します。

来期も初級で「第17期登山学校」が計画されています。

一般の方や加盟団体の多くの会員の皆様から、受講生を募集します。

参加希望申し込みは登山学校・事務局、またはHP参加申し込みで！

第十六期 大澤 忍記

第六回講座

「天気の見方」を終えて

十一月五日(土)

机上講座 北浦和カルタスホール 午前九時三十分開始
登山における天気知識は、地図の読み方と並び重要な技能である。山の天気は変わりやすいため、今回の講座で天気の見方を習得し、今後の登山に役立てたいとの気持ちで臨んだ。



まず講師の高橋五男氏から、パワーポイントを用いての説明があった。理科の授業で習った内容も、改めて教わると、日常生活に深くかわっていることが多い。天気図も、その記号や構成にはそれぞれ理由があり、多くの気象データが盛り込まれていることに改めて驚かされた。講師に習い、自分で天気図を作成したので、その点をより実感することができた。天気基礎知識をおさらいした後、観天望気について解説が行われた。観天望気は、雲の形や風の向きなど、実際に見て、肌で感じ、天

気を判断する。スライドでの説明があったが、雲の形状は下層、中層、上層それぞれに特徴があり一度で習得するのは難しい。

実際に山で空を観察し、実践していきたい。午後は講師の徳重博文氏から、スライド写真を用いての解説があった。雲の形状とあわせて、四季折々の高山植物が紹介され、綺麗な花々に心が和んだ。一通り、気象の知識と観天望気について学び、明日の実技が楽しみとなった。

十一月六日(日)

実技講座 山梨県大月・岩殿山 九時半、大月駅に集合。

一面雲に覆われ午後から雨が降るとの予報があり、観天望気を実践するには残念な空模様となった。駅から歩くこと三十分ほど。

岩殿山ふれあいの館にて準備体操の後、班ごとに山頂へ向け出発した。岩殿山山頂へは午前十一頃に到着。途中、講師から雲の形状などの解説があった。

空に大きな変化はなく、雨がいつ降り出すかという状況であったが、実際の空を見ながらの解説は面白い。その他天気に関係する言い伝えやことわざも興



第十六期生
藤岡智子 記



味深かった。さらに山頂から兜岩へと向かう。

途中クサリ場があり、転落しないよう緊張する場面もあったが、講師の方々がロープなどで、しっかりとフォローしてくださり、登山としても楽しむことができた。そして兜岩から稚児落しを通り、浅利集落へと下る。稚児落しは、岩壁を超えるような箇所があり、その名の通り何か由来があるように思われた。途中で雨が降り出したため、足を速めて大月駅まで向かい十四時すぎに到着した。残念ながら秋空を楽しむことはできなかったが、ヴァリエーションに富んだ山を楽しむことができた。今回教わった知識は、登山に限らず日常生活でも役に立つ。空を見て、雲を観察する習慣をつ

第七回講座

「総合学習」を終えて

一二月三日(土)〜四日(日)

西上州・鉾柄岳、荒船山 宿泊は山小屋ではないとはいえ、いよいよ一泊二日「総合学習登山」がやってきた!と思っていたのに、朝から雨。

バスが発出し、さらに強くなる雨、雨、雨…。運営委員の方の協議の上、一日目の鉾柄岳登山は中止となりました。

途中、こんにやく工場の見学をしてそのまま国民宿舎へ到着。今までの総復習といえる机上学習をしました。

ロープワークやテーピング、地図読みなど、時間がある分みっちり復習ができました。お勉強の後は、温泉につかってお肌もつるつるになり、その後の交流会では明日の登山も忘れて?!遅くまでいろいろな話を伺うことができました。



いよいよ二日目、待望の晴れ。朝風呂にも入って準備万端。「やつと山に登れる!」とはやる気持ちで荒船山へと向かいました。

荒船山はその名の通り、船の形に似ていることからその名がついたそうです。

長い平坦な尾根は甲板で、断崖絶壁の展望台からの景色は素晴らしかったけれど、下を見るとすいこまれそうで怖かったです。



そしてなんといっても強い風!日陰では寒さで帽子をかぶり、日向では暑くなって脱ぐという繰り返しでした。



今回は二日にわたる登山の予定が一日になってしまいました。が、「危険が予測される時には無理をして登らない」という一番大切なことを教えていただきました。

第十六期生 塚田祐子記



寄稿

千葉県勤労者山岳連盟 第11回房総群界尾根縦走に参加して

思いたった時がチャンス！

新座山の会 久保典子



一昨年11月、群界尾根のことを知る。「厳しく、面白い縦走だよ」と教えられた。千葉の山はどんなだろうと興味を持ったが、あいにく都合がつかず断念。

去年、千葉県連のニュースに掲載されると、すぐに申しこむ。60キロ強を、知人もいない中、たった一人で参加することになったのだが、不安はなく、期待と楽しみが大きく膨らんでいた。

当日、駅で柔和な相馬さんに迎えられた。すでに集まっておられたメンバーは、もう一つの山の会のように違和感がなくお互いになじんでいた。

ここからの3日間はあつという間に過ぎた。とにかく千葉の山はわからないので、道を地図に照らし合わせることをしても皆目分からず、あれよあれよという間に過ぎた。その為か、疲れも感じずに済んだ。

縦走のコースは岩稜あり、キレットあり、痩せ尾根あり、アップダウンあり、と飽きないどころか面白い。歩いても歩いても、歩く者を飽きさせない山道だ。ガイド担当の方達も、地理、地質、歴史、と教えてくださる。すごい知識で覚えきれなかった。植生も樹木の種類が豊富で、マテバシイなどの大木もあった。スケールの大きさを感じた。

ここに参加したメンバーは実にエネルギーに溢れる。テントの中での会話、食事時の会話、温泉での会話、縦走中の会話、どれをとって見ても学習、

学習の連続で、いろいろな事を教えていただいただけでなく、その会話がユーモアに溢れていた。初めて逢う者同士なのにこんなに打ち解けるものなのだろうか。と、感心した。スタッフのみなさんの心配りによるところが大きいのだろう。他の県連からの参加者も受け入れてくださったことに感謝している。労山の連帯を感じた。

この縦走体験をした中で、感動することはいろいろあったが、「人間の豊かさ」を知ったことが一番のよう気がする。千葉の気候と風土が作り出したのだから、おおらかで、明るく、包容力が深かった。誰でもできるわけではないが、私も見習うべき点が多くあり自分の会に、自分の県にこのことを生かしていきたいと思う。来年もぜひ参加したいと心から今は感じている。ふわくの皆さま、スタッフの皆さま、千葉県連の支援してくださった皆様、そして参加者の皆さま、楽しい新春のひと時をともにしてくださりありがとうございました。

(追記)

会や県連によつては、一般の方や他の会の方々が公募山行以外に参加されるのを制約される場合があるが、個人会員を拡大する方向では、こうした組織内外での積極的な取り組みが画期的であり、埼玉の仲間の皆さんも来年はぜひ参加してみてください。

【 房総群界尾根の2012年コースタイム 】

11/7(土) 天気晴れ 1日目

浜金谷駅発(8:43)→(9:03) 富津金谷トンネル着・衣服調整→鋸山を登っていく→9:44 展望台着→10:09 鋸山(329.5M) 山頂着→10:48 ミヤマシラネタブノ木着→10:48 林道金谷元名線→10:55 キレット越えに出発→11:46 露岩展望台着→12:20 昼食→12:45 発→13:20 風のピーク着→14:05(休憩)→14:36 嵯峨山頂上(休憩)→水仙がきれいスイセンロード→16:37 山中 着 夕食/テント泊

〈感想〉初めて会うので皆緊張していたが準備運動をおこなう内にうち解ける。車は荷物を先に運ぶ。歩き始めキレットありの面白い変化にとんが道。スイセンのにおい。何回目かの衣類調整をするころは班にもなじむ。山中温泉は良い。食事良いテントよい星がきれい。骨折者一人

11/8(日) 天気晴れ 2日目

山中発(7:28)→林道→8:06 ぐるっと山中展望台ハイキングコース→9:07 一子ロード着→あわと上総を結ぶ道→9:13 木の根峠六角地蔵→花さか峠→9:35 ながさ街道 集落あり→11:55 横尾林道→12:09 愛宕神社・昼食→柚子の木街道→13:40 番所跡→石碑あり→13:53 女房落とし→16:20 鴨川有料道路 着 テント地 16:30/テント泊

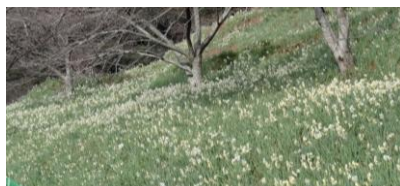
〈感想〉この道は長くアップダウンが多くある。尾根も細く寝もたくさん出ており注意が必要。神社での昼食は温かくくつろげた。鴨川有料道路でテント泊。大きなドラム缶のふたを暖炉にして夕食。昨日もそうだが酒が進む。民謡あり山の歌あり大宴会が続く。月がきれい。星もきれい。

11/9(月) 天気晴れ風なし 3日目

出発7:30 鴨川幕営地→9:49 元清人の登りにかかる→10:32 登り口着→11:49 昼食→13:05 東大演習林終わり→14:28 到着ゴール。

〈感想〉何人か参加者が減る。3日間の中で一番風がなく穏やかな日でした・みなガンバリ、楽しくお話ししながら歩く。途中の展望台から見る景色が素晴らしい。

ゴールに来た時には充実感で自信が湧き上がる。と共に、完走できたことが皆の皮に喜びの表情として表れていた。



理事会報告

第9回理事会在1月25日(水)さいたま市民活動センターで8名の出席で行われました。

＊全国連盟活動

・1月24日 役員選考委員会
・全国理事＆専門委員推薦理事(伊藤、井芹、藤井、大澤)専門委員(今井、柴山、佐藤、他 矢崎退任により、遭対管理委員会に武笠)以上

・1月14日(土)震災支援会議

＊県連全体活動

・県連総会3/25
議案印刷 3/24 PMパルコ

【事務局】45期理事募集

・再任・新任：事務局長から推薦書メール&封書送付済。
多くの加盟団体から選出を。

【財政】連盟費完納、監査後日

【機関紙】176号編集集中、早急に原稿を。

【女性】1/16 女性委員会 7名

・3/3日(土) 9:00～16:30

アクシデント講習会 30名

・2/20 女性委員会

【ハイキング】11/30 委員会

・1/8 地図読み講習会「カルタスホール・北浦和」17団体53名70名申込み受付

【組織】組織実態調査の集約

再度メールをして集約予定

【救助隊】1/23 新年会

・2/25～26 関プロ救助隊深雪搬

出訓練：参加中止

【登山学校】1/11 運営委員会

・第8回講座「雪山入門」

1/14 机十…24名 1/15

実技：那須岳 22名

・2/4 登山学校閉校式
【遭難防止・安全教育】

・1/22安全教育担当者会議
「安全登山マニュアルを配布15団体 25名」

【岩ネットワーク】

・12/23 幕岩 13名

【山スキーネット】

・3/ 未定

【雪山ネットワーク】

・3/3～4初級「雪山に泊まろう山名：黒姫山」

準備会2/27パルコ9F

・4/7～8中級：雪稜「テント泊」山名：こまの頭北尾根

準備会3/26パルコ9F

【沢登りネットワーク】

・夏期テント泊山行を2回実施(45期活動方針に追記)

【ブロック活動】

西部：12/6 ブロック会議

・雪山交流 2/26 武尊山

南部：1/19 ブロック会議

・裏磐梯スノーシュー2/11～12

中部：2/29 ブロック会議

・雪山交流 3/11～12

阿能川岳南東尾根

議題

①女性委員会主催

【アクシデント対応講習会】

期日 3/3(土) 9:30～16:30

場所 北本市北本観察園

講師：柴山 利幸氏

②第45期県連総会

期日 3月25日(日)

場所 高畠コミセン地下一階

＊総会議案の素案を作成

活動報告・活動方針作成・修

正 3/10締切 3/24印刷

＊他 当日担当役員の確認
議長(南部西部)書記(北部中部)各ブロックで事前に決めて下さい。

③県連の震災支援活動

・1/27～29(金)夜発現在8名

・4/13～15(金)夜発を予定

参加者は担当者まで 石巻

④全国総会 2/18～19

晴海グランドホテル

(武笠、徳重、木村出席)

＊2月理事会 2月29日(水)

パルコ9階

以上。

理事 久保記



2月～3月の県連活動計画

- 2/ 4 登山学校閉校式
- 2/11～12 南部スノーシュー交流ハイク
- 2/18～19 全国総会
- 2/26 西部スノーシュー交流バスハイク
- 2/25～26 関プロ救助隊深雪搬出訓練
- 2/29 第10回理事会 (事務所)
ハイキング委員会
- 3/4 山スキーネット 安達太良山
- 3/3～4 雪山ネット「雪山に泊まろう」
- 3/ 8 女性委員会 安全登山講習会
- 3/25 第45期埼玉県連総会

2012県連山スキー交流山行のお知らせ

- 1 期 日 2012年3月4日(日)
- 2 山 域 安達太良山 (2万5千図：安達太良山)
- 3 目 的 ・山スキーを愛好する労山会員の親睦
・山スキー技術全般の向上
- 4 参加資格 ・埼玉労山加盟団体の会員で、遭対基金
5口以上加入していること
・山スキー用具一式を用意できること(雪崩ビーコン含)
・ボーゲンターンなど、スキーの基礎技術があること
※個人装備等については、別途相談します
- 5 行 程 ゴンドラ駅 1300m～山頂 1699m～往路を戻る
※参加者でパーティ行動をしますので、会内で仲間がいない方もOKです
- 6 集合場所 あだたら高原スキー場 ゴンドラ乗り場前 午前8時
- 7 申し込み・問い合わせ 熊谷トレッキング同人 宮田幸男
携帯 090-2721-0949 (午後8時以降)
E-mail miyatan182@leaf.ocn.ne.jp



【編集後記】

節分・立春と季節の時節では春と言われても、立春を過ぎてからの寒波到来により、東北や日本海地方では例年になく豪雪に見舞われました。雪国育ちの私も経験がありますが、本当に雪かきや屋根の雪下ろしは大変です。秋田内陸鉄道から見た久しぶりの故郷も、やっぱり今年は例年になく雪深く感じられました。また、昨年来の東日本大震災や原発事故等の災害に見舞われた多くの方々とて、まだまだ復興が遅く停滞している現状に、春を迎えるにはほど遠く厄をはらう声も、どこか虚しさが感じられます。例年なら熱海や湯河原等では紅梅や白梅等が咲き始め、梅まつりで賑わいをみせている時期ですが、開花が遅れまだ1分咲き位との事！地図読みで訪れた曽我丘陵もまだ蕾で、梅まつりは期間を延ばして開催されるそうです。さて、県連活動も残すところ一ヶ月！総会に向け今期の活動のまとめと来期活動方針等の準備が行われていますが、来期活動に向けての各加盟団体の皆さんの積極的な意見を述べていただきたいと思います。(2月号 印刷・発送が遅れて大変申し訳ありませんでした。) 澤藤